

「史跡夕田墳墓群保存活用計画（案）」に寄せられた
パブリックコメントの実施結果について

令和7年2月19日

富加町教育委員会

「史跡夕田墳墓群保存活用計画」の策定にあたり、パブリックコメントを実施しました。実施結果と本町の考え方をまとめましたので、公表いたします。

貴重なご意見・ご提案をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 パブリックコメントの概要

案件名	史跡夕田墳墓群保存活用計画
意見募集の期間	令和7年1月18日から令和7年2月16日
資料の配布・閲覧場所	・町ホームページ ・役場1階ロビー ・富加町郷土資料館ロビー

2 パブリックコメントの実施結果

意見提出数及び意見数	9人 23件
提出方法	窓口6人、電子メール3人

3 いただいたご意見の内容と町の考え方

ご意見の内容	町の考え方
1 古墳の一部は民有地である為、町は地権者との話し合いをされているが、地元として協力してゆきたい。	夕田墳墓群 3 基を国史跡として保存するよう計画で定めており、未指定の杉洞 1 号墳については、追加指定に向けて地権者と協議を重ねております。地元のみなさまにもご理解とご協力をお願いいたします。
2 以前、古墳付近に宅地化計画で白紙化した経緯があり、富加町の将来を考慮したうえで一旦古墳附近の土地を町有地とし新たな構想事案を検討材料にしてほしいと思います。 来訪者を楽しませる古代衣装の着付け、古代食糧作り、バーチャル体験、土器作り、火起こし体	令和 4 年度に国史跡に指定された夕田茶臼山古墳と蓮野 1 号墳はすでに公有化しており、杉洞 1 号墳については今後、国史跡へ追加指定し公有地化を図るよう計画に明記しております（第 6 章第 2 節 1 (3) (4) P66、第 7 章第 2 節 P69）。

	<p>験等施設の充実計画案。生涯学習講座との連携強化。</p>	<p>ご提案のように史跡を活用して子供から大人まで楽しめる活用事業を企画し、生涯学習をはじめ地域振興、さらには文化的観光の資源としての活用推進も目指します。</p>
3	<p>古墳案内板の充実設置。（案内板に QR で紹介等・歴史ゲームクイズ等）</p>	<p>点在する墳墓群を一体的に理解でき周回できるような案内板、標識・誘導サインを整備するよう計画に定めております（第9章整備 P83）。まずは今後の整備基本計画にて統一的デザインを考案することになりますが、ご提案のようなゲームやクイズ等の付設についても考慮していきたいと思っております。</p>
4	<p>茶臼山古墳から西に見渡す展望の木伐採で、古代ロマン価値観の共有化。</p>	<p>第4章第1節（P42）において夕田茶臼山古墳からの眺望を史跡の本質的価値と定め、その価値を顕在化するため、第6章大綱（P67）や第9章第2節整備の方法（P82）にて通景伐採を実施することとしております。</p>
5	<p>夕田地区歴史景観保存活用エリア中の広域見学道として、現在道の轍が深く歩行に支障をきたす恐れがあります。</p>	<p>保存活用計画策定後には、整備基本計画の策定を予定しております。その中で広域見学道の具体的なルートや整備の必要性や方法等について検討します。</p>
6	<p>戸籍→古墳→信長迄の、町 PR 映画製作。SNS 等への発信。</p>	<p>SNS をはじめ情報発信の強化については第8章第2節の活用の方針にて方針を明示しました（P80）。また、夕田墳墓群の歴史を地域の通史に位置付け、地域性を明らかにすることも重要と考えております。具体的な方法についての貴重なご意見として承ります。</p>
7	<p>見学者の走行は生活道路（小学校の通学路含む）と共有する部分があり交通安全に向けた注意喚起強化対策。</p>	<p>今後の整備基本計画を策定する中で、具体的な方法等について検討していきます。</p>
8	<p>原則駐車場は茶臼山古墳と郷土資料館の2か所に限定要望します。（訪問者と地元住民のトラブルを避けたいため。）</p>	<p>計画の中で駐車場等の便益施設の設置については必要性を検討することとしており（P83）、今後の整備基本計画の中で具体的に議論し、提示する計画で</p>

		す。その際の貴重なご意見として承ります。
9	トイレは郷土資料館とキャンプ場の2か所での来訪者理解を促す。	第9章第2節整備の方法にて、トイレについては近隣公共施設の利用を含めて必要性を検討することとしております(P83-84)。今後の整備基本計画の中で議論し提示します。
10	<p>近年、古墳や城跡が注目されて関心のある方が多くみえます。現地に赴いて見学される方もあるかと思えます。富加町も国指定された古墳を見にみえる方もあるかと思えます。担当者の方やそれに関わる方たちも熱心にいろいろやってみえるので感心します。</p> <p>茶臼山、蓮野、杉洞古墳、加治田城跡、堂洞城跡を活かせるようにすると思います。資料館前の古墳については一帯を古墳公園として整備していただくと茶臼山古墳だけでなく、見学できるようになるといいと思います。それだけ関心のある方が多くなっていると思います。町内の方にも知っていただきたいです。</p>	<p>第6章大綱に示すとおり、夕田墳墓群を構成する3基の墳墓の価値を一体的に理解し体感できる整備を目指します。具体的には今後の整備基本計画策定の中で議論し、提示します。</p> <p>また、資料館前に立地する杉洞1号墳については第6章大綱の基本方針や、第7章保存管理にて示すように、まずは追加指定と公有地化を進めていく方針を提示しています。</p>
11	<p>P70(6)追加指定と公有地化</p> <p>杉洞1号墳を中心として、郷土資料館の展示設備の拡大再編成、双葉中学校の学習林及びとみかこども園の「もりの幼稚園」創設等、P9 図1-4 富加町全体構想図 に示されているような里山拠点、リクリエーション拠点、さらに加えて歴史的、里山活用ゾーンとして具体化するため、杉洞1号墳の追加指定、公有地化とともに杉洞1号墳接続する西方、南西方の森林一帯の公有地化を図る。</p>	<p>杉洞1号墳については追加指定と公有地化を推進する方針を提示していません(第6章第2節1(3)(4)P66、第7章第2節P69)。</p> <p>里山的景観の中で歴史と自然がつながる夕田墳墓群の価値を後世へ継承することを目指し(第6章第1節大綱P66)、自然環境と調和した活用や整備を図りたいと考えています。</p>
12	<p>P80(4)周辺の施設や他市町村と連携した観光促進</p> <p>・具体的な施設等の固有名詞を記述する。 ○日本最古の戸籍(半布里戸籍)、清水寺、龍福寺、加治田城址、堂洞城址、伊和神社の田の神祭り、光宗寺、平井家の文芸、松井屋酒造資料館、大梅寺、東光寺、木村小舟</p>	<p>ご指摘のとおり町内の史跡や文化財所在地との連携も必要であります。ただし具体名については枚挙に暇がなく、今後も新たな価値が見いだされ文化財となる場合もありますので、「周辺の史跡や歴史遺産などに関連する施設や場所」と加筆したいと思います。</p>

	<p>碑等</p> <p>○また、史跡墳墓群周辺のみならず、次のような視点から、地域一帯を含めた集落の整備をすることも必要である。</p> <p>○自己の評価であるが、各項目における富加町の整備度は次のような現状ではないか。</p> <table border="1" data-bbox="325 512 826 860"> <thead> <tr> <th>集落条件</th> <th>現状整備度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見る (観光)</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>習う</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>食べる</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>憩う</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>体験する</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>宿泊する</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	集落条件	現状整備度 (%)	見る (観光)	80	習う	30	食べる	20	憩う	40	体験する	20	宿泊する	0	<p>地域一帯の整備についてのご提言については、まずは国史跡が本質的価値を損なわず、確実に保存・継承していくことを第一義としながら、ふるさと教育や地域振興の拠点として愛され、さらには文化的観光に資する史跡となるような活用と整備を目指していきたいと考えております。整備の具体的な方法については今後の整備基本計画策定の際に議論し定めていきたいと考えております。</p>
集落条件	現状整備度 (%)															
見る (観光)	80															
習う	30															
食べる	20															
憩う	40															
体験する	20															
宿泊する	0															
13	<p>富加町HP史跡夕田墳墓群保存活用計画 (案) のパブリックコメント募集の案内文について</p> <p>(1)お寄せいただいたご意見を参考に計画策定および文化庁認定にむけて申請を行います。 →今後の文化庁の認定とは何か、杉洞1号墳の国史跡指定のことか、あるいは保存整備に関することか。</p> <p>(2)なお、お寄せいただいたご意見は、これに対する富加町の考えとともに整理した上で公表することとしています。</p> <p>→いつ、どんな形で公表されるのか。具体的な時期、回答の媒体手段を教えてください。</p>	<p>今回策定した保存活用計画は、文化財保護法第129条の2により文化庁の認定を受けるべく申請をします。文化庁の認定を受けた場合、計画の円滑な実施を図る観点から、史跡の現状変更の際に必要な文化庁長官の許可又は事前の届出に関して、認定保存活用計画に記載された行為については事後の届出で足りるようになります。</p> <p>お寄せいただいたご意見には町の考えを付して、富加町ホームページのパブリックコメント欄に公開します。</p>														
14	<p>P7 第4節 パブリックコメントの実施</p> <p>夕田墳墓群の国史跡指定は、文化財専門官をはじめとする町行政の方々の詳細な調査や大きな尽力のおかげで、全国にも発信できる富加町の大きな歴史的な財産が蓄積されつつあることを、地元住民として感謝致しております。</p> <p>ただ、古墳そのものの存在は早くから地元にも知られ、新たな発見ではないため、残念ながら、国史跡指定の大きな業績のわりには、町外の方々の関心の高さに比べ(毎回、古墳見学・説明会に</p>	<p>ご指摘のとおり、情報発信の不足は現状において課題と捉えております (P56表5-2)。特に地域振興や観光の面でPRが不足しており、関係部局との連携不足などを課題として挙げております (第5章第2節 P55)。</p> <p>上記の課題を踏まえて、第8章活用において学校教育、生涯学習における史跡の価値を伝える学習やイベント等の継続的な実施、地元団体と協働した保存と</p>														

	<p>は、この人口規模の富加町に対して、多くの町外の方が参加して見えます。もちろん、町文化財専門官や富加町、歴史サークルの方々のご尽力の賜物ですが）、僭越ながら、どうしても指定の機運が高まっていかなぬような気がしています。私は、古墳の近隣に居住しているの、町外のみならず遠方の名古屋市や静岡市からも尋ねてみえる方も多々おられます。</p> <p>町民の関心をいっそう大きなものにするためにも、町の大きな特色的な財産として、住民の意識化を図り、新聞、TV（最近では地方をとりあげる番組が多い）、ケーブルテレビ等の報道機関やネット媒体等への積極的な広報が望まれます。</p> <p>また、今回のパブリックコメントの案内が、折込チラシだけではなく、広報とみかにも掲載されるとよかったですと思います。</p>	<p>活用事業の展開、文化的観光の素材制作と関係部局との連携など、学校教育・生涯学習・地域振興と文化観光それぞれの活用の方向性を提示しました（P78-80）。</p> <p>今後は多面的な事業を展開することで、町民のみなさまへ史跡の存在や価値について継続的に情報を発信し、史跡や地域の歴史を大切にする意識やシビックプライドを醸成していきたいと考えています。</p> <p>ご提案いただいた具体的な方法についての貴重なご意見として承り、今後検討していきたいと思ひます。</p>
15	<p>P4 第3節 策定委員会等の設置及び経緯</p> <p>「保存活用計画を策定するにあたり、史跡夕田墳墓群保存活用計画策定委員会を設置し、計画の審議・検討を行った。」</p> <p>史跡夕田墳墓群の今後の保存活用は、学問的評価や歴史的な位置づけのみならず、周辺の整備やPR等、夕田墳墓群を地元を中心とするみんなで維持活用していこうという意識の高揚や重要と考えられる。</p> <p>また、古墳周辺の竹林の繁茂の伸長、その影響等は、地元住民が周知である。</p> <p>よって、公的な史跡夕田墳墓群保存活用計画策定委員会のみならず、富加町との協働による、富加町民や地元民を主体とした夕田墳墓群保存の会のようなものを設立したらどうか。あるいは、半布里文化遺産活用協議会の加入PR（そもそも町民が半布里文化遺産活用協議会に加入できるかどうかはわからないが）、史跡夕田墳墓群と関連づけた活動の拡充の検討ができればいいと思う。</p>	<p>第10章第1節運営・体制の整備の方向性（P85）として、地元住民や地域自治組織、関係諸団体などと連携・協働できる体制を構築し、史跡の保存活用の様々な場面で地域住民が積極的に参画できる仕組みづくりを確立するものとしており、方法として地域住民が参画する機会設定や半布里文化遺産活用協議会との連携を挙げました。</p> <p>ご提案いただいた方法を加味しながら、史跡の保存活用にとってより良い体制づくりを進めてまいりたいと思ひます。</p>

<p>16</p>	<p>P47 第3節 構成要素の特定 4 史跡指定地外の周辺環境を構成する諸要素</p> <p>3 史跡の本質的価値を構成する諸要素の一部であるが、指定されていない部分</p> <p>「今後条件が整備され史跡への追加指定となった場合には、本質的価値を構成する諸要素等へ組み込む必要がある。」</p> <p>→意味がよくわからない。杉洞1号墳が追加指定になった場合、夕田墳墓群の構成要素にするといふことか。</p> <p>4 史跡指定地外の周辺環境を構成する諸要素</p> <p>「史跡指定地外で保存・活用に資する要素を特定すると、夕田茶臼山古墳に近接する「古墳と里山広場」は駐車場として利用でき、富加町郷土資料館はガイダンス施設として最適の立地である。」</p> <p>→茶臼山古墳周辺については文化庁によるある程度一体化の公有地がなされているが、富加町郷土資料館の展示スペースの拡充、また、蓮野1号墳の周辺用地の整備（隣接した箇所が森林繁茂、廃材置き場となっており国指定の史跡としてはふさわしくない周辺環境）、杉洞1号墳指定予定地に隣接した用地の森林荒廃、竹林繁茂等、現在の計画では、史跡古墳のみが孤立して整備され、歴史ゾーンとしての周辺との一体化が乏しい。</p> <p>→3 富加町都市計画マスタープランが策定され、夕田地区の古墳周辺が歴史的景観づくり、歴史ゾーンとして計画されているのなら、古墳そのものが文化庁による公有地化なら、とくに蓮野1号墳や杉洞1号墳指定予定地の隣接地は、町の自主財源、補助金等も活用し、富加町による公有地化をめざし、整備できないか。</p> <p>→富加町都市計画マスタープランは理念だけではなく、具体的にどのように進められているのか、あるいは進めていくのか。進捗状況を知りたい。</p>	<p>杉洞1号墳は現時点では国史跡となっておりませんが、一体的な価値を有する墳墓と考えられるため、今後国史跡へ追加指定を進め、指定された際には「史跡の本質的価値を構成する諸要素」に組み込むよう明記しました。</p> <p>夕田墳墓群は3基の墳墓が点在するため一体的な整備が課題であると認識しています。富加町郷土資料館をガイダンス施設として拡充することや、案内版や誘導サインの設置、広域導線の設定などで、これらの課題を補えるよう今後の整備基本計画策定のなかで議論し提示していく予定です。</p> <p>史跡指定地外の周辺環境については、地権者または関係団体へ協力をお願いしながら、体制づくりを含めて適切な環境を構築していきたいと考えます。</p> <p>夕田墳墓群を含むエリアは、富加町都市マスタープランにおいて歴史景観ゾーンと構想される部分であり、町第5次総合計画における基本目標「豊かな心と文化を育むまちづくり」の具現化とも関連しながら、史跡夕田墳墓群の整備が都市マスタープラン計画の構想する「歴史文化を育むまちの環境の形成」に資すると考えます。それを踏まえた夕田墳墓群の整備については、導線計画やサイン計画などで周辺地域も含めて史跡整備基本計画の策定において検討を予定しております。整備に際しては基本的には文化庁の補助金を得ながら、町の財政状況を鑑みての事業遂行になるかと思えます。</p> <p>都市マスタープランの計画期間は、概ね20年後の将来像を展望しつつ、目標年次を10年後の令和12年としています。なお、都市計画に関わる情勢の変化</p>
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<p>などにより適宜見直しを図ることとしておりますが、現状での見直し及び進捗把握については、計画どおり令和12年を予定しております。</p>
17	<p>P52 保存管理の現状と課題 表 5-1 「風雪害等の倒木によって墳丘が毀損するおそれがある。」 →夕田墳墓群は、その立地条件の性質上、周囲が森林、竹林で囲まれている。古墳、墳墓そのものの保存も重要であるが、その価値を継続的、継続的に維持していくためには周辺の森林、竹林整備が不可欠である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備が困難とのことであるが、周辺地域の富加町公有地化、地権者の協力、地元の森林整備団体への依頼、協働を進めていくことが必要ではないか。 ・官民一体となつての整備、広報が必要であるし、課題として、住民等の参加や意識の高揚が乏しいとあるが、それを結論付けるには、まだまだ地域住民へのアピールが乏しいことが否めないのではないか。 	<p>第6章の大綱及び基本方針の決定において史跡に影響を及ぼすおそれのある樹木については早急に対策を講じることと、適切な樹木管理を施すことを挙げ(P66)、第9章の整備において環境の整備として通景伐採や樹木管理の実施(P82-83)を定めております。</p> <p>史跡指定地は周辺の地形を含めて指定をしており、指定地内の樹木を適切に管理することで史跡への影響は抑制できると考えていますが、必要があれば隣接地についても地権者等への協力を検討していきたいと思っております。</p> <p>また、情報発信の強化を図り、活用事業を通じて地域住民のみなさまに史跡の魅力を伝えながら、第10章第1節運営・体制の整備の方向性(P85)に示したとおり、地元住民や地域自治組織、関係諸団体などと連携・協働できる体制を構築したいと考えております。</p> <p>史跡の保存活用の様々な場面で地域住民が積極的に参画できる仕組みづくりの確立を進めてまいりたいと考えております。</p>
18	<p>P61 第4節 運営・体制の整備の現状と課題 表 5-4 運営・体制の整備の現状と課題 整理表 について ○現状やその課題については整理表の考察通りだと考えらえる。ただ、その解決策やその方向性が示されていない。町行政と住民との協働によって、ある程度、見通しのもてる課題もあるのではないかと。</p>	<p>本計画の構成は、現状と課題の洗い出しを踏まえ、第6章の大綱及び基本方針の決定から第7章以降の保存、活用、整備、運営体制の方向性と手法の提示をおこなっています。</p> <p>ご提示いただいたように、運営体制については第6章にて地域や関係団体と密接な関係を構築して保存・活用、整備</p>

<p>○「文化財サポーター養成講座を開設し、史跡を含めた町の歴史や文化への理解を深め、貢献できる人材を育成している。人口規模が小さいため、育成プログラムの受講者が少なく、人材の確保が難しい」</p> <p>→自治会回覧板、報道機関への資料提供、広報の活用等、古墳の国指定をも掲げ、積極的にPRを行ったらどうか。</p> <p>○「半布里文化遺産活用協議会が史跡のガイド事業を行っており、文化財サポーター養成講座の修了者が同協議会に加入して活動している。活動の周知が不十分で、効果を十分に波及できていない。」</p> <p>→自身を含め、住民の意識不足は否めないが、半布里文化遺産活用協議会がどのような組織なのか、町行政に位置づいている組織なのか、研修等の広報を古墳群の地元を重点的にでもいいので進めることはできないか。</p> <p>○「事務などを含めた文化財行政全般を1名の文化財専門職員が担当している。人材が不足しており、十分な情報の共有、事業の継続が困難である。専門性の継承も行なえない」</p> <p>→古墳の国指定や町の文化財管理・普及においては、文化財専門官の長年のご尽力や見識、功績がたいへん大きいと思う。また、史跡の説明回答でも参加者にたいへんわかりやすくていねいに説明していただける。このような研究者としての学識もあり、富加町の歴史的遺産の普及に熱心な方はめったにいない。ぜひ、富加町としてはなさないようがんばってほしい。</p> <p>ただ、記載の通り、これだけの偉業を文化財専門官1名では対応はあまりにも困難だと思う。偉業が後世に継承できないどころか、せっかくの優秀な専門官の方の力量が発揮できなくなってしまう。小さな町村だからこそ総花的な町行政ではなく、せっかくの他に類を見ない歴史的資産が存在するのであるから、いにしえ</p>	<p>を行う体制の強化を図ることを今後の方向性として、第10章にて方法を提示しております(P85)。</p> <p>第10章では文化財サポーター養成講座にも触れ、継続して講座開設していくこととしています。そして周知の方法について、令和7年度は広報誌だけでなく広域生涯学習冊子「学びのとびら」にて告知し、広く募集することにしております。</p> <p>次に、半布里文化遺産活用協議会について、当該協議会は富加町の文化遺産の教育普及や地域振興への活用を実践する目的として平成28年度に町教育委員会が支援して発足した団体で、事務局を富加町郷土資料館に置いています。活動は協議会々員で定めながら、様々な活用事業を町郷土資料館と協働で進めています。町教育委員会では、当該協議会を夕田墳墓群だけでなく町の歴史文化遺産の活用において重要な役割を担う団体と位置づけており、第8章の活用、第10章の運営・体制の整備においても地域振興やふるさと教育の核としての役割を期待しております。そのための連携強化や活動のサポートを今後も充実させていきたいと考えています。</p> <p>ご提案にあるように、史跡に最も身近な夕田地区のみなさまには、史跡への関心を高めていただきたいと考えております。今後は、当該協議会と協力しながら、地元向けの周知活動なども企画していきたいと考えております。</p> <p>運営体制については、第5章の現状と課題の把握を受けて、第6章大綱及び基本方針において専門職員の継続配備と、文化財保護や史跡の活用と整備に関する全庁的な連携、組織体制の強化を図る</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>のまち富加町の特色づくりとして、加治田城址、堂洞城址、松井屋酒造、文之字屋跡地等と連携して推進していったらどうか。</p> <p>たとえば、教育委員会内ではなく行政部局に文化財推進課（音楽、絵画等の芸術文化を推進する部局とは別個）を設置し、文化財専門官を増員し、複数の職員を設置したらどうか。</p> <p>○「史跡の実質的な管理や活用の一部を担う富加町郷土資料館は、史跡に関するガイダンス機能が十分に図れておらず、学芸員等専門職員が常駐していない。史跡の管理や活用の拠点となっておらず、十分な情報発信も行えていない。」</p> <p>→この報告書によると、問題点を熟知されているので、解決策はどうかをぜひ明示してほしい。</p> <p>専門官以外にある程度の歴史的、文化財的知識を有する会計年度任用職員を郷土資料館に常駐できるようにしてはどうか。</p> <p>人材確保募集が困難であるかもしれないが、広く募集を広報し、文化財サポーター養成講座履修者や、週2日ずつという分割勤務形態も取り入れ、歴史的、文化財的知識の豊富な人材を確保し、来館者に、ある程度の説明ができるように。</p> <p>近隣の住民による文化財サポーターを充実したり、国指定の史跡案内看板やのぼり旗の設置等、富加町が一体となって国指定の史跡を積極的に広報していく。</p> <p>→富加町の歴史的産の広報、町外の関心に比べ、それに対する地域住民の高揚の少なさは否めない。</p> <p>町内の関心を高めるために、令和6年11月12日（火）～13日（水）に実施された、富加町議会文教厚生常任委員会の奈良県への視察に関して林町会議員が令和6年度 文教厚生常任委員会視察研修報告書を作成されているので(1)町民内外に対し、その報告会を実施してはどうか。(2)また、議員視察を行った場所に、町民等を対象にしたツアーを催してはどうか。</p>	<p>方針を提示しました。さらに、第10章運営体制の整備においても関係機関との連携、庁内の体制強化を図りつつ（P86）、専門職員数の検討を行う（P87）と明記しております。</p> <p>史跡夕田墳墓群をはじめ富加町の歴史的遺産に対する町民の関心を高める施策については、第8章活用に示した1学校教育における活用の手法（P78）、2生涯学習における活用の手法（P78-79）、3地域振興と文化的観光における活用の手法（P79-80）にて示した施策を展開していく所存です。</p> <p>また、第9章整備にて示した活用のための整備（P82-83）を実施していくことで、地域のみなさまの史跡やふるさとの歴史遺産への関心、さらには保護意識の醸成を図っていきたいと考えております。</p> <p>この度は具体的な方策の提案などを交えながら、運営体制の方向性をご提示いただき誠にありがとうございます。貴重なご意見として承り、今後の施策に活かしていきたいと考えます。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>その際は、各報道機関や情報誌にも情報提供をしたり、意識化を図ってほしい。</p> <p>○富加町として、史跡夕田墳墓群をはじめ富加町の歴史的遺産に対する町民の関心を高めるためどのような施策を考えておられるのか。具体的に教えてほしい。</p>	
19	<p>まずは日々、富加町の発展と平和維持にご尽力いただきありがとうございます。本件の史跡夕田墳墓群保存活用計画（案）について、素人目ではありますがご意見を述べさせていただきたいと思えます。</p> <p>富加町は現在、県内でも稀有な人口増加の町となっております。それは近隣地域への利便性やいまままで控えていた宅地造成の進行によることが要因ではあります。住居が増える一方で中規模の商業施設（バロー・ゲンキー・コメリ・道の駅等）もでき更に利便性もよくなってきております。しかしながら飲食店等の小規模商業施設に関しては近隣の町村に比べてまだまだ少ないのが現状です。それは富加町がただ住むだけの町としてしかまだ認識されていないからだと思います。</p> <p>小規模商業施設を発展させるためには町内住民だけのニーズでは顧客が足りません。今後は国内インバウンド（国内他地域からの小規模観光）を狙う意味で富加町にいくつかの観光的な目玉が必要になってくるかと思えます。</p> <p>よってせっかく歴史ある町ですのでそこをフューチャーしない手はないと思えます。そういった意味で町内になる史跡の整備、それに伴う公園や駐車場の増設はいま正しく必要なことだと思った次第であります。</p> <p>小さな町ですがそこを武器に町内を歩いて（もしくは自転車で）いろんな史跡を回れる町にできればよいのかなと、今回の史跡夕田墳墓群保存活用計画（案）を拝読してそのように感じましたこと</p>	<p>本計画でも第 6 章大綱及び基本方針において、史跡の活用を通じて文化的観光の資源とすることも基本方針に盛り込みました。また、第 8 章活用において史跡ガイドツアーや様々な仕掛けの創出等を手法として例示しております。観光的コンテンツの充実や様々な施設や組織との連携を模索し観光促進を図っていきたいと考えます。</p> <p>近年は著名な観光地だけでなく専門性や「そこにしかない」といった稀少性をテーマにしたマイクロツーリズムも一定の市場を形成しており、当町の史跡の活用はそうした面にも訴求していく可能性が大いにあります。まずは保存のための整備が優先ですが、さまざまな活用を見据えた整備を計画していきたいと思えます。</p> <p>富加町には他地域にはない数多くの歴史遺産があり、調査研究と適切な活用によって「歴史のまち」を前面に町の PR やイメージづくりを図っていきたいと考えております。</p>

	<p>をお伝えさせていただきます。 よろしく願いいたします。</p>	
20	<p>第5章第2節活用の現状と課題 P54～56</p> <p>主に町内の子どもと関係者が参加するものが多いので、もっとたくさんの人に知ってもらいたい。</p> <p>とみぱーくには町外からもたくさんの子供づれがおとずれているので、何かイベントをやる時は道の駅とかだけでなく、とみぱーくにチラシやポスターをはり周知するといいと思います。</p>	<p>貴重なご意見をありがとうございます。今後はとみぱーくにも掲示をしていきます。</p> <p>その他にも町内外の公共施設や交流施設などにも積極的にPRしていく計画としています。</p>
21	<p>茶臼山古墳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜城、佐久太神社、堂洞城がみえるように高木の伐採（道路から見える古墳） ・山道整備 ・駐車場広く、トイレ、東屋、の設置 桜、もみじ、山ゆりなどで季節を色どる ・駐車場までの道幅拡幅、歩道もつける <p>蓮野・杉洞古墳</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学道を整備、分かりやすい看板、目印をおく ・木は切る ・杉洞は古墳の作り方が分かる見せ方展示 ・野外体験施設など大人も小人も楽しめる公園と駐車場 ・その他の史跡めぐり ・文化財を守る人材確保（草刈り、木の伐採など） 	<p>史跡の今後に向けての貴重なご意見として承りたいと存じます。</p> <p>通景伐採、見学道の改修や便益施設の検討、サイン計画等は第9章整備（P85）にて提示をしました。詳細については今後の整備基本計画策定にて検討していきたいと考えております。</p> <p>その他にも史跡の活用（第8章）や、地域と連携した運営体制整備（第10章）にて同様の内容を提示しておりますので、本計画に基づいて計画的に進めていきたいと考えております。</p>
22	<p>資料館の建て直し</p> <p>展示・体験・講義室・ロビー・トイレ複数・イーティン（古墳カレー・とみちゃんかぼちゃ・イチゴ・栗メニューなど）・古文書、文化財の保管室など</p> <p>事務所</p> <p>教育委員会から独立した課を置く</p> <p>学芸員3名以上</p> <p>現在の学芸員1人では文化財の管理、講演会、審査に加え教育委員会の行事をこなすのは負担が大きい</p> <p>コミッティの活動が広がる取り組み</p>	<p>第6章大綱及び基本方針にて活用・整備の両面から郷土資料館のガイダンス施設強化（P67）を挙げ、第9章において整備の方法としても提示しております。整備の内容については、財政状況等も加味しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>体制については第10章第2節（P85）で専門職員の継続的配置と体制強化についても今後整備するものとしておりますので、計画的に進めていきたいと考えております。</p>

		<p>半布里文化遺産活用協議会（通称半布里コミッティ）との連携強化、活動支援も保存・活用の必要な点として盛り込んでおりますので、今後、協議会のみなさんと話し合いながら取り組んでいきたいと考えております。</p>
23	<p>学芸員さんの人数を増やして、調査研究をさらに深くできると良いと思います。</p> <p>資料館の展示も見直して古墳の位置関係や当時の生活などの展示もさらに詳しくできたらと思います。</p> <p>夕田の佐久太神社の鳥居をくぐった所から茶臼山古墳を見ると手が届くほど近くに見えます。この場所から冬や夏至の太陽が古墳や堂洞城から登るのを見ると、昔の人も、この風景を見ていたのかと思えます。</p> <p>もし佐久太神社の鳥居のそばの畑を公園なりにするのであれば、あの場所を町に寄贈しても良いと思っています。</p> <p>同じような高さの場所から手が届きそうに見える古墳を知って欲しいです。</p> <p>古墳の周りの木ももう少し伐採して見はらしを良くすると良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>史跡の眺望は本質的価値と位置付けて通景伐採や樹木の適切な管理が必要である点を第9章整備（P82）にて提示しております。詳細は今後の整備基本計画策定にて検討していきたいと考えております。</p> <p>また、佐久太神社との関係も史跡の活用の中で触れていくべき点であり、今後の事業の中で取り上げていきたいと思っております。</p> <p>専門職員の配置と体制強化については第10章第2節（P85）にて今後の方針を提示しております。これに基づいて計画的に進めてまいりたいと考えております。</p>